

平成29年12月定例会運営日割

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
12月 1日	金	9:30	議会運営委員会	議案等上程説明聴取
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	議会改革検討会	
2日	土			休 会
3日	日			休 会
4日	月			休 会 (議案等質疑通告正午まで)
5日	火	9:30	議会運営委員会	議案等質疑 一部議決 委員会付託
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	広報広聴委員会	
6日	水	9:30	建設経済常任委員会	
7日	木	9:30	厚生環境常任委員会	
8日	金	9:30	子ども文教常任委員会	
9日	土			休 会
10日	日			休 会
11日	月	9:30	総務常任委員会	
12日	火	9:30	補正予算常任委員会	
13日	水	9:30	議会運営委員会	
		議会運営委員会 終了後	議会改革検討会	
14日	木			休 会
15日	金	9:30	議会運営委員会	常任委員会等報告 議決 一般質問
		10:00	本 会 議	
16日	土			休 会
17日	日			休 会
18日	月	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
19日	火	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
20日	水	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
21日	木	9:30	議会運営委員会	一般質問 追加議案上程説明 委員会付託 常任委員会報告 議決
		10:00	本 会 議	
		本会議休憩中	補正予算常任委員会	
		本会議終了後	広報広聴委員会	

会

期

12月 1日～21日

21日間

教育委員会 1 月定例会
教育長報告（1）

子ども文教常任委員会日程

日時 平成29年12月8日（金）

午前9時30分

場所 議会議場

- 1 議案 第74号 藤沢市学校事故措置条例の一部改正について
- 2 議案 第77号 藤沢市学校教育相談センター条例の一部改正について
- 3 陳情29第24号 神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
陳情29第25号 国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
- 4 報 告（1） 鵜南小学校等再整備に係る基本構想策定について（中間報告）
（2） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組について
（3） 藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム(案)について
（4） 藤沢市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し等について

鵠南小学校等再整備に係る基本構想策定について（中間報告）

鵠南小学校等再整備に係る基本構想策定作業は、9月市議会定例会子ども文教常任委員会において3つの配置計画（素案）を報告しておりますが、その後再整備に係る基本コンセプト（案）を設定し、配置計画（素案）について、基本コンセプト（案）に沿った比較検討資料を作成しております。この資料をもとに、保護者、教職員等、地域住民に対し情報提供と意見集約を継続的に行い、これらの意見等を反映させながらコンサルタントの知見に基づく検討を進めた結果、施設の配置計画（案）について一定の方向性を含め、基本構想策定の中間報告をするものです。

1 基本コンセプト（案）

資料2「基本コンセプト（案）」のとおり、7項目を設定しています。

2 配置計画（素案）

資料2「配置パターンの比較検討」のとおり、基本コンセプト（案）に基づくメリット・デメリットを比較検討しています。

3 保護者、教職員等及び地域への説明・意見交換について

ア 鵠南小学校、浜見保育園保護者への対応

継続的に検討状況を説明し、意見交換を行うとともに、検討状況をお知らせする文書を配布しています。また、10月29日（日）に中間説明会を開催しました。

イ 鵠南小学校、浜見保育園職員への対応

月1回検討会を開催し、随時意見等を反映させながら継続的な検討を行っています。

ウ 地域住民への対応

鵠沼地区郷土づくり推進会議、町内会自治会連合会、隣接住民に検討状況を情報提供し意見交換を行うとともに、検討状況をお知らせする回覧を実施しています。

また、保護者と合同で中間説明会を開催しました。

エ 主な意見等

- ・ 工事期間中も含めて津波に対する十分な安全対策を図ってほしい
- ・ 工事期間中はグラウンドが十分に使用できないので、体育館は使用できるよう計画してほしい
- ・ 子どもたちの教育環境を考えると現状の校舎棟の配置を維持してほしい
- ・ 隣接住民として、住宅に建物が近づくと、音や臭気など住環境の変化が心配であり、現状の校舎の位置に校舎を建設してほしい
- ・ 南側市道は、道幅が狭く施設への出入りは危険なため、避けてほしい
- ・ 複合施設になることで、保育園の送迎車両など路上駐車が増加することなどにより事故等の発生が懸念されるため、十分な対策を図ってほしい
- ・ 工事中も含め、津波や地震の際の避難所としての機能を確保してほしい

4 配置計画（素案）の検討結果について

「配置パターンの比較検討」に基づく、A・B・C案におけるメリット・デメリットと各方面からの意見等を総合的に勘案し、コンサルタントからの提案も考慮した検討結果として、

ア A案は仮設校舎の使用が必須となり、コスト、工期の延長のデメリットはあるが、教育環境や中長期的な学校運営の視点、また、隣接住環境への影響が最も少ないことなどのメリットが多いことから、保護者、教職員等、隣接住民ともにこの配置計画による整備を求めている。

イ B案は保育園の主要動線が南側市道に限定されること、また、南向きに教室を配置することができないことなどから保護者、教職員等、隣接住民ともに理解を得るのが困難。

ウ C案は校舎棟が南側住宅地に近接することで、学校生活から発生する音や臭気、圧迫感など隣接住環境への影響が大きく、学校運営においても教育環境への影響も懸念されることから、教職員等、隣接住民ともに理解を得るのが困難。

以上のことから、子どもたちの安全面や長期的な視点において良好な教育環境の確保、また、各方面との合意形成の視点も重視し、A案をベースとした平面計画(案)の検討を進めることとしました。

5 平面計画（案）の検討

平面計画について、A案をベースに資料2「配置・平面計画（案）」のとおり、細部の検討を進めています。

6 今後のスケジュール

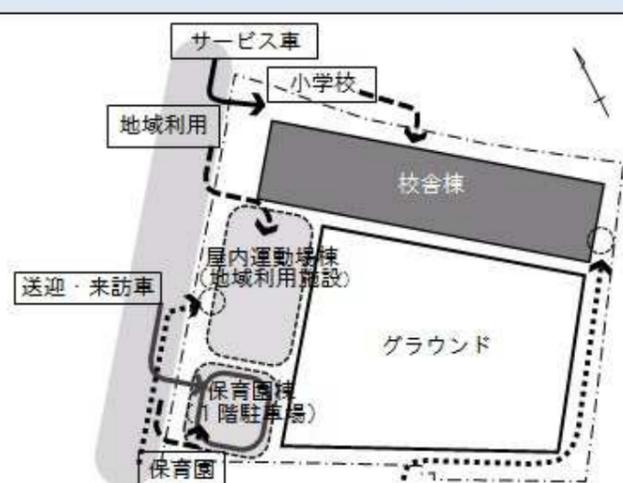
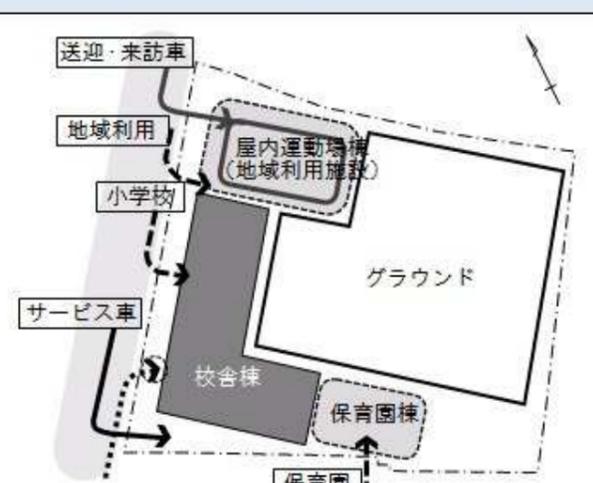
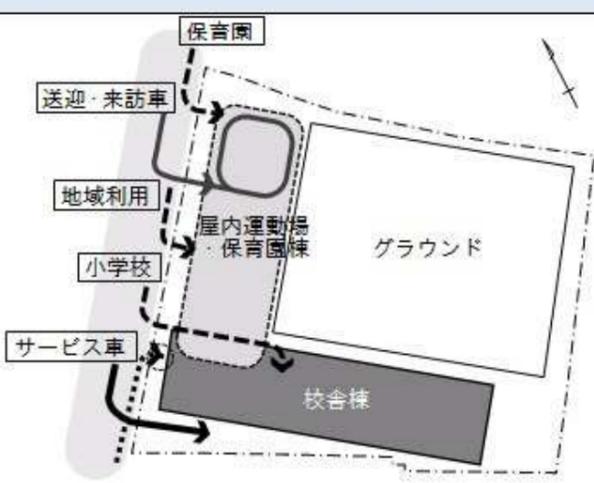
平成30年1月	鵜南小学校区内住民・保護者説明会 【中間報告を踏まえた修正案の説明】
同 2月	藤沢市議会定例会へ基本・実施設計予算（2カ年継続）を上程
同 2月	藤沢市議会定例会子ども文教常任委員会へ基本構想（案）を報告

以 上

【基本コンセプト(案)】

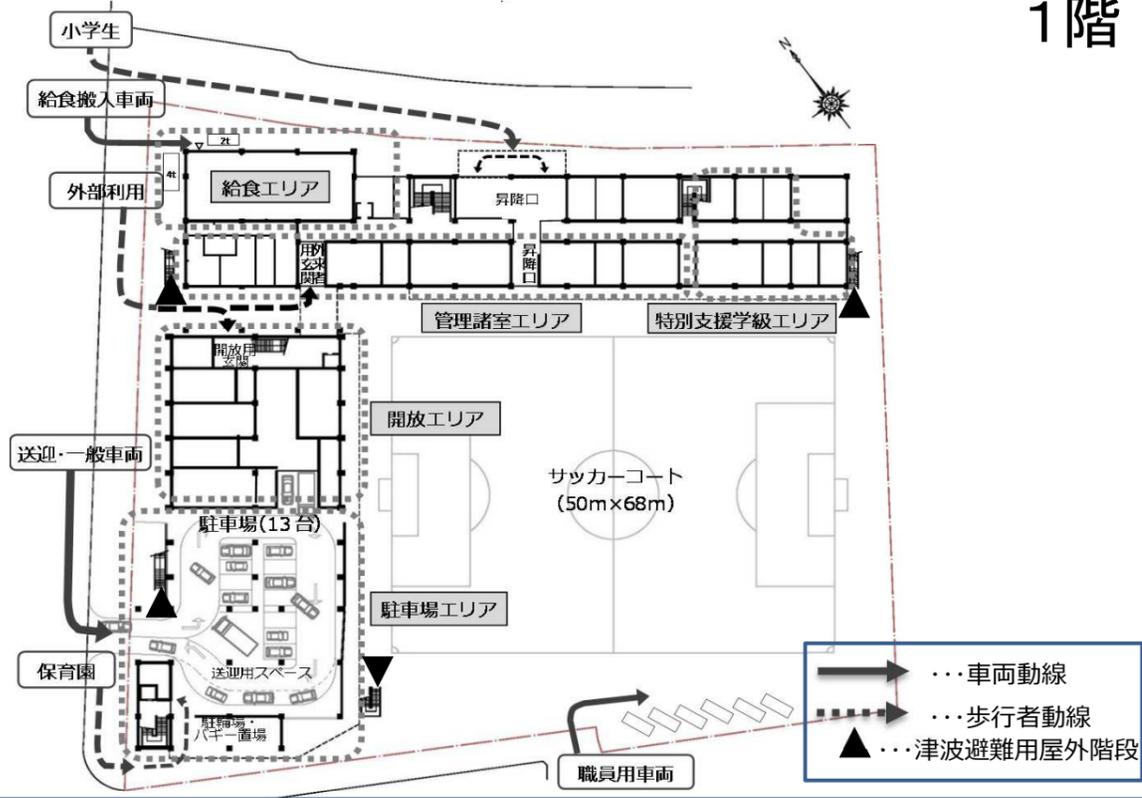
- ① 子どもたちの安全・安心が保たれた施設とする。
- ② 津波発生時の避難場所として、安全・確実に避難できる施設とする。
- ③ 子どもたちが健康で快適に過ごすことのできる施設とする。
- ④ 保小連携や地域連携が行いやすい施設とする。
- ⑤ 周辺住宅等の居住環境に配慮した施設とする。
- ⑥ 長期にわたり機能性を確保できる長寿命な施設とする。
- ⑦ 整備コストの低減や工期の縮減にも配慮した施設とする。

【配置パターンの比較検討】

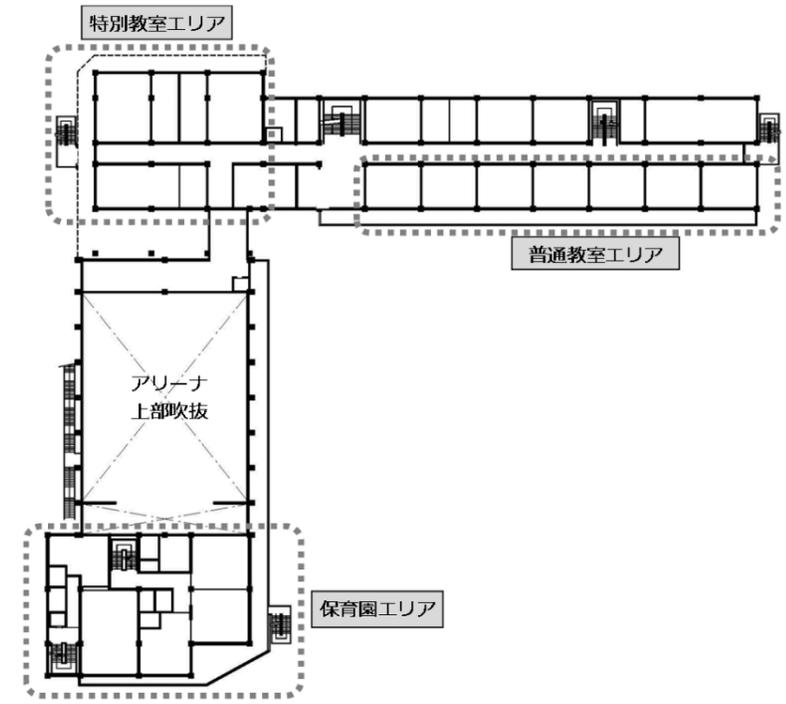
		校舎棟配置の基本パターン		
		【A 案】校舎棟を敷地の北側に配置	【B 案】校舎棟を敷地の西側に配置	【C 案】校舎棟を敷地の南側に配置
配置及び動線のイメージ	※配置や動線については、施設平面プランの検討により、位置がずれる可能性があります。			
	<ul style="list-style-type: none"> --- 歩行者動線 — 自動車動線 避難動線 ○ 屋外階段 			
基本コンセプト(案)	①子どもたちの安全安心	◎	△	◎
	②津波避難所としての機能	△	○	○
	③健康・快適な生活環境	◎	△	△
	④保小連携・地域連携	○	△	○
	⑤周辺住宅地への影響	◎	△	△
	⑥施設の柔軟性と長寿命化	○	○	△
	⑦整備コストと工期	△	○	◎
1) 概算コスト 2) 事業スケジュール(予定)	1) 約4.7億円(設計費、移転費、什器等は除く) 2) 設計2年、工事5年 ※設計から工事完了まで約7年	1) 約4.3億円(設計費、移転費、什器等は除く) 2) 設計2年、工事3年半 ※設計から工事完了まで約5年半	1) 約4.3億円(設計費、移転費、什器等は除く) 2) 設計2年、工事3年半 ※設計から工事完了まで約5年半	

【配置・平面計画(案)】

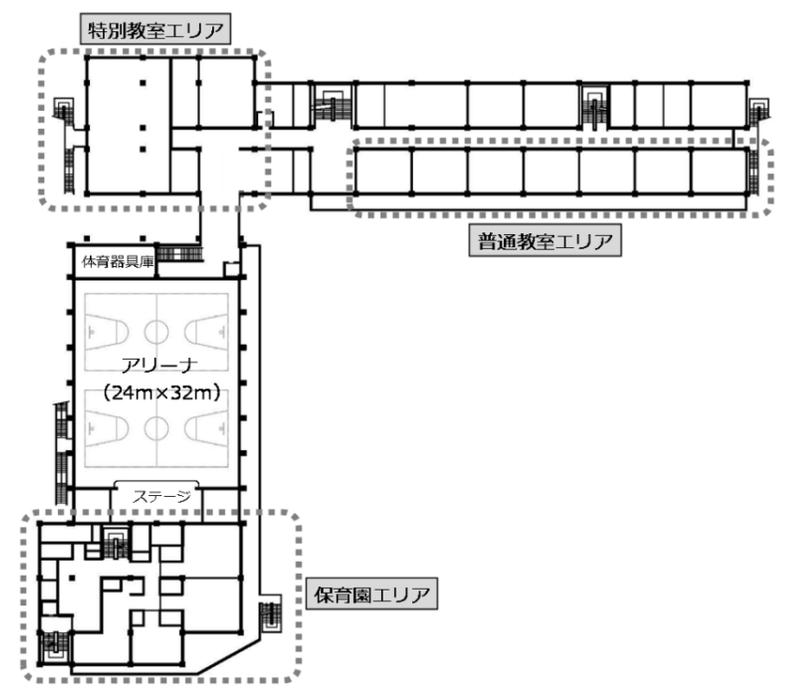
1階



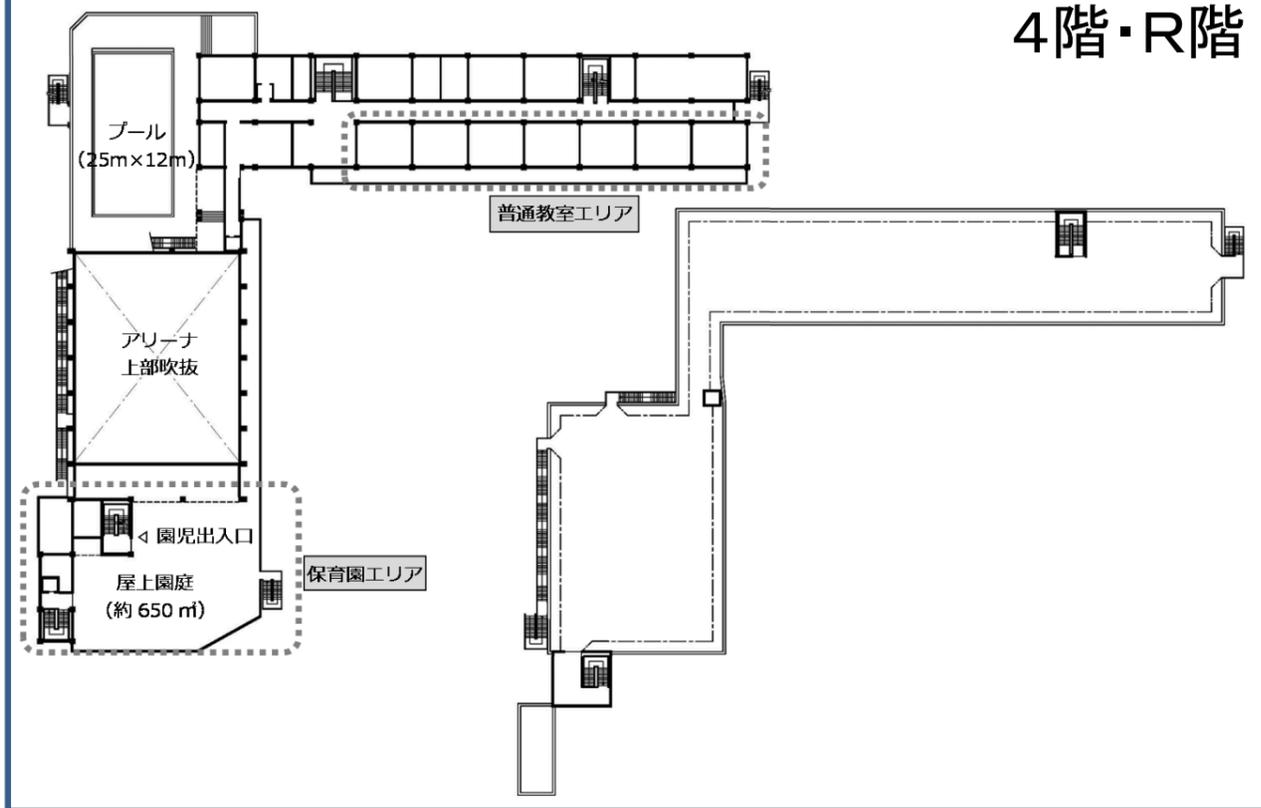
3階



2階



4階・R階



藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム（案）について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）のオリンピック・セーリング競技開催に当たり、東京2020大会がもたらす感動や共生社会の推進をはじめとする効果を、子どもたちをはじめとしたすべての市民が享受できるよう、藤沢市と藤沢市教育委員会により「藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム」（以下「藤沢市教育プログラム」という。）を策定するものです。

1 取組経過

藤沢市教育プログラムの策定に当たっては、本年1月に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会藤沢市庁内推進会議」のもとに教育プログラム専門部会を設置して、平成28年度に2回、平成29年度に4回の会議を行い、議論を重ねてきました。

2 専門部会構成課等

生涯学習部：生涯学習総務課，東京オリンピック・パラリンピック開催準備室

教育部：教育総務課，教育指導課

校長会：小学校長会，中学校長会

3 藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム（案）について

資料2のとおり

4 藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムの実践に向けた参考事例集（案）について

資料3のとおり

5 今後のスケジュール

平成30年1月～ 小学校長会及び中学校長会において情報提供

生涯学習部内の各種審議会及び公民館長会議等において情報提供

平成30年4月～ 藤沢市教育プログラムの推進

以上

（事務担当）

生涯学習部 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室

教育部 教育指導課

藤沢市オリンピック・パラリンピック 教育プログラム（案）

2017年（平成29年） 月

藤沢市
藤沢市教育委員会

目 次

	ページ
1 策定の目的	1
2 対象	1
3 対象期間	1
4 藤沢市教育プログラム体系図	3
5 基本方針（目指すレガシー）	4
6 取組の視点	4
7 取組施策	5
8 具体的実践の考え方	6

1 策定の目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）のオリンピック・セーリング^{※1}競技開催に向けて、市民や子どもたちの心身の健やかな成長に寄与することを目的として、東京2020大会を一過性のスポーツイベントとするのではなく、大会の開催を契機としたスポーツと教育及び文化を融合させた活動により、有形・無形のレガシー^{※2}を創出し、次の世代に継承していけるような取組を進めていく必要があります。

「オリンピック憲章」では、オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学であり、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものであるとしています。そして、その目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会を奨励することを目指し、スポーツを人類の調和の取れた発展に役立てることにあります。

東京2020大会がもたらす感動や共生社会の推進をはじめとする効果を本市の価値として創造し、次の世代に継承していくことが重要なため、子どもたちをはじめ、すべての市民が健やかで笑顔あふれるよう、本市がこれまで取組を進めている教育活動を中心に、藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム（以下「藤沢市教育プログラム」という。）を策定するものです。

※1 セーリング

昭和39年の東京大会においては「ヨット」と呼ばれていましたが、平成12年のシドニー大会から名称が「セーリング」に変更されました。

※2 レガシー

藤沢市教育プログラムでは、長期にわたり継承・享受できるオリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす社会的・経済的・文化的な未来遺産のことをいいます。

2 対象

学校教育においては、藤沢市立の小学校、中学校及び特別支援学校を対象とします。なお、市内の私立小中学校等に対しても、藤沢市教育プログラムを情報提供するなど、本市における東京2020大会による効果をより一層高めるよう、関係者と連携を図っていくこととします。

社会教育においては、市内で社会教育活動に参加するすべての方々を対象とします。

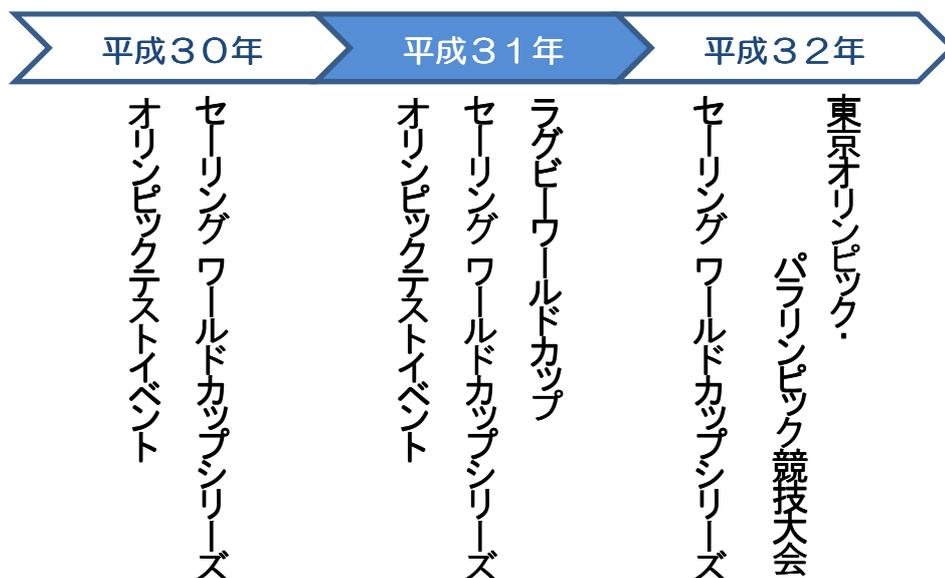
3 対象期間

平成30年度から平成32年度までの3年間とします。

なお、平成33年度以降についても、東京2020大会がもたらした価値を踏まえた様々な取組を発展させながら継承していくこととします。

【参考】

対象期間中の主な大会実施予定



※オリンピックテストイベントは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）が主催、セーリング ワールドカップシリーズは、ワールドセーリング（国際セーリング連盟）が主催する大会です。

※平成30年のセーリング ワールドカップシリーズは、オリンピックのテストを兼ねる予定です。

※セーリング ワールドカップシリーズは、平成30年から平成32年まで、3年連続で江の島において開催されます。

4 藤沢市教育プログラム体系図

【基本方針】

ふじさわ教育大綱
【学びの環・人の和・元気の輪】

【取組の視点】

- A オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の理解
- B 多様性に関する理解
- C 国際社会への理解
- D 地域社会への理解

【取組施策】

- ①気運醸成・スポーツ推進に関する取組
- ②ボランティアマインドに関する取組
- ③健康増進に関する取組
- ④文化芸術に関する取組
- ⑤環境に関する取組
- ⑥共生社会に関する取組
- ⑦安全・安心に関する取組

5 基本方針（目指すレガシー）

本市では、学びを通して幸せなまちをつくりたいという願いをもって、誰もが学びのネットワークを広げ（学びの環）、すべての人々が和やかにつながり（人の和）、豊かな心で健やかな毎日を過ごしていけるように（元気の輪）、藤沢市総合教育会議において「ふじさわ教育大綱」が策定され、本市の教育の基本理念となっています。

このことから、藤沢市教育プログラムを推進するに当たり、「ふじさわ教育大綱」を基本方針とします。

- 1 いつでもどこでも誰でも学ぶことができ、学んだことを地域でいかし自らの成長に結ぶ「学びの環」を広げましょう。
- 1 マルチパートナーシップに基づき、地域社会で共に生き支えあう「人の和」を広げましょう。
- 1 心身の体力を育み、豊かな心で、自他を尊重して行動し、健やかな毎日を過ごす「元気の輪」を広げましょう。

（「ふじさわ教育大綱」から抜粋）

6 取組の視点

組織委員会は、様々な関係団体と連携・協働し、若い世代を鼓舞する取組を一体となって継続的に行う「東京2020教育プログラム『ようい、ドン！』」を、全都道府県において展開しています。オリンピック・パラリンピック教育を通じて、多くの若者が自らの目標を持って、自らのベストを目指す意欲を持ち、多様性を理解し、豊かな国際感覚を備えることを目標としています。

組織委員会が掲げる目標を視野に入れ、学校において教育活動を進めるとともに、市域全体に社会教育としてオリンピック・パラリンピック教育を普及していくに当たり、重視する視点は次の4点とします。

A オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の理解

チャレンジや努力を尊ぶ態度、ルールへの尊重、フェアプレーの精神など、オリンピック・パラリンピックやスポーツを通して様々な価値を学び、豊かな心を育む。

B 多様性に関する理解

子ども、高齢者、障がい者、国籍、民族等への理解や人権の尊重などを通じ、共生社会の実現を目指す。また、海外の文化や社会に関する理解を通じて、多文化共生の意識を高める。

C 国際社会への理解

東京2020大会までの経験を通じて、国際社会への理解を深めるとともに、地域社会における国際交流等に、主体的、積極的に参画する意識を高める。

D 地域社会への理解

みんながつながり、つながりが広がっていくよう、学校・家庭・地域が連携し、地域社会において積極的に人と関わっていく態度を養う。

7 取組施策

市民、関係団体が一体となった市民協働組織「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」では、レガシーとして創出したい取組内容を10項目掲げており、この中から学校教育、社会教育に関連が深い7項目を取組施策とします。

①気運醸成・スポーツ推進に関する取組

東京2020大会に向けて気運を高める取組を進めるとともに、様々なスポーツを体験することにより、フェアプレーやチームワークの精神を身につけることができるよう、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」取組を推進します。

②ボランティアマインドの醸成に関する取組

社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育むボランティアマインドを醸成することは、地域における人の和やマルチパートナーシップを推進していく上で不可欠な要素です。ボランティア活動などへの参加を通じて、ボランティアマインドを醸成する取組を推進します。

③健康増進に関する取組

スポーツ等を通じた健康づくりや保健学習、薬物乱用防止教室等において、健康増進等にもたらす効果や薬物等が身体に及ぼす悪影響を学ぶことや、誘惑に負けない心を育む取組を推進します。

④文化芸術に関する取組

長い年月を経て育まれた日本の文化芸術や歴史の再認識と継承を図るとともに、海外から訪れる方々をおもてなしの心でお迎えするため、様々な国や地域の文化・風習の理解促進を図ります。

⑤環境に関する取組

オリンピック・パラリンピック競技大会の理念の一つである環境への配慮や環境保全による持続可能な循環型社会の学習をすることにより、環境保全

活動の取組を推進します。

⑥共生社会に関する取組

オリンピズムの目的である人間の尊厳保持と平和な社会を目指し、あらゆる人の人権が尊重される社会の実現に向けて、障がいの有無，国籍，民族等の違いを超えた，共生社会の取組を推進します。

⑦安全・安心に関する取組

防犯，交通安全，交通ルールなどの教育により安全対策の充実を図ります。また，災害への適切な対処ができるよう，防災教育を進めるとともに，地域諸団体と一体となった連携協力体制の充実を図ります。

8 具体的実践の考え方

取組施策に関連する教育活動は，大きく分けて学校教育と社会教育があります。

学校教育においては，教育課程に位置づけて実施する取組を対象とし，社会教育においては，公民館や生涯学習大学，図書館等で行われている事業，生涯スポーツ活動に関する事業等を対象とします。

具体的に実践する事業は，これまでに取組の実績がある事業と東京2020大会を契機として新たに実施する事業があります。学校教育においては，スポーツ庁が作成した「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」等の活用や，現在行っている授業や行事等において，「取組の視点」に合致する内容を扱っているものは，オリンピック・パラリンピック教育として位置づけて実施することもできます。

また，学校教育，社会教育ともに「東京2020参画プログラム」の活用が可能であるため，東京2020大会に向けて藤沢市全体で盛り上げていくとともに，子どもたちや市民の要望，地域特性にあわせて，様々な工夫ができるものです。

これらを踏まえ，別冊「藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムの実践に向けた参考事例集」において，事業例を提示しますので，学校教育，社会教育に携わる関係者については，オリンピック・パラリンピック教育に向けた参考事例として活用してください。

また，関係者それぞれが実施した事業については，その後の取組にいかせるよう，実績等を共有していきます。

以 上

藤沢市オリンピック・パラリンピック
教育プログラムの実践に向けた参考事例集（案）

2017年（平成29年） 月

藤沢市
藤沢市教育委員会

目 次

	ページ
藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムの 実践に向けた参考事例集について	1
①気運醸成・スポーツ推進に関する取組	2
②ボランティアマインドの醸成に関する取組	4
③健康増進に関する取組	6
④文化芸術に関する取組	8
⑤環境に関する取組	10
⑥共生社会に関する取組	12
⑦安全・安心に関する取組	14

藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムの 実践に向けた参考事例集について

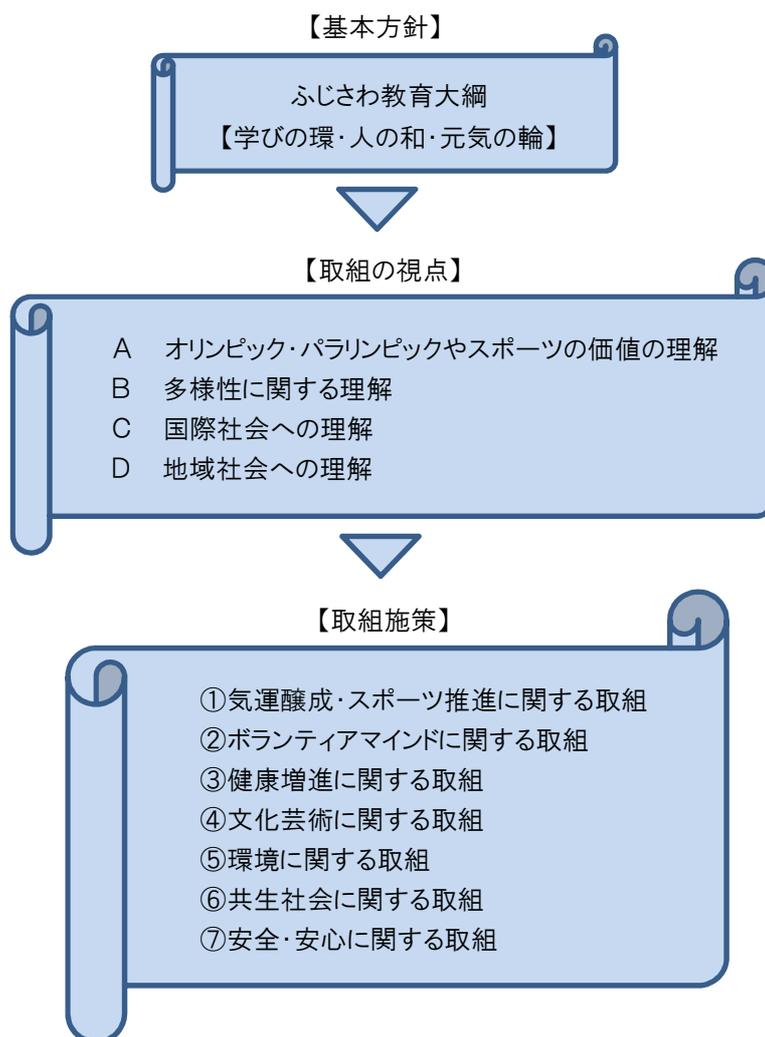
藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムでは、7項目の取組施策を掲げています。

本事例集では、取組施策それぞれに関連する事業例を記載します。事業例は大きく分けて学校教育と社会教育とし、すでに取組実績のある事業に加えて、オリンピック・パラリンピックを契機として新たに実施する事業も記載しています。

学校教育、社会教育に携わる関係者の状況にあわせて、実施できるものを選択しながら行っていくこととし、オリンピック・パラリンピック教育の参考事例として活用していただくものです。

なお、今後具体的な実施内容を検討していく事業（※を付けている事業）や関係者が自主的に申し込みをして実施する事業は、最後に一覧表として再掲しています。この一覧表は、今後、適宜更新するものとします。

藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム体系図



①気運醸成・スポーツ推進に関する取組

東京2020大会に向けて気運を高める取組を進めるとともに、様々なスポーツを体験することにより、フェアプレーやチームワークの精神を身につけることができるよう、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」取組を推進します。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学校 教育	運動会・体育祭	異学年集団による体育的行事を通して、運動に親しむ態度の育成や責任感、連帯感の醸成等を図る。	A	
	球技大会・ドッジボール大会	スポーツを通して、学級や学年の親睦、交流を図る。	A	
	マラソン大会	自分自身の目標に向かって走り、体力を向上させる。	A	
	八ヶ岳体験教室 スキー教室	スキーや集団生活を通して、スポーツの楽しさや、規律を守り協力することの大切さを学ぶ。	A	
	オリンピック・パラリンピック競技体験	オリンピックやパラリンピアン等を講師に招き、実際にオリンピック・パラリンピックの競技を体験する。	A・B	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	セーリング体験	江の島（湘南港）が東京2020大会のオリンピック・セーリング競技の会場となっていることから、実際に子どもたちにセーリングを体験できる機会を創出する。	A	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室等
	キャリア教育プログラム	イメージマップ等を使用したアクティブ・ラーニング教材の提供	B・C	パナソニック株式会社
※聖火リレーへの参画	オリンピック開催前に行われる聖火リレーに、子どもたちが参画できる場面を創出する。	A	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	

学校教育	※選手（オリンピック・パラリンピック含む）との交流	セーリング競技大会開催時のレセプションや事前キャンプなどの機会を捉え、海外の選手やコーチなどの関係者などと交流の機会を創出する。	A・B C	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	※藤沢市ゆかりの選手の応援	東京2020大会を目指す藤沢市ゆかりの選手を、様々な手法により応援する。	A・B D	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	※セーリング競技観戦	東京2020大会に向けて、テストイベントやセーリングワールドカップシリーズが開催されるため、セーリング競技の観戦を通して、気運醸成を図る。	A・C	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	※オリンピック・パラリンピック観戦	オリンピック・パラリンピックを観戦することにより、フェアプレーやチームワークの精神を学ぶ。	A・B C	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	※セーリング学習	パンフレット等を活用して、セーリングのルールや種目などを学習し、また、競技会場である湘南港を見学する。	A・D	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
社会教育	オリンピックに関するパネル展示	昭和39年の東京大会を振り返るパネル展示やセーリングに関する情報提供を行い、気運醸成を図る。	A	総合市民図書館
	視覚障がい者向け立体エンブレムの作成	立体エンブレムを通して視覚障がい者にオリンピック・パラリンピックの意義を伝える。	A・B	総合市民図書館（点字図書館）
	オリンピックに関する歴史、競技に関する理解等	公民館・生涯学習大学において、昭和39年の東京大会や、セーリングに関する講座等を開催し、開催地市民としての意識を高める。	A	生涯学習総務課
	スポーツ事業（ビーチ・マリンスポーツ）	ビーチスポーツ、マリンスポーツの普及・促進のため各種スポーツ大会を開催、協力、支援する。	A	スポーツ推進課

※今後具体的な実施内容を検討していく事業

②ボランティアマインドの醸成に関する取組

社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育むボランティアマインドを醸成することは、地域における人の和やマルチパートナーシップを推進していく上で不可欠な要素です。ボランティア活動などへの参加を通じて、ボランティアマインドを醸成する取組を推進します。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学校教育	地域清掃・海岸清掃・ゴミ拾いボランティア	学校周辺や近隣公園，海岸等のゴミ拾いを行う。	D	
	老人・福祉施設等への支援	施設を訪問し，ボランティア活動を行う。	B・D	
	地域イベント等への参加	地域のお祭り等のイベントに参加し，ボランティア活動を行う。	D	
	花いっぱい運動	学校周辺の環境美化を目指して花を植える活動を行う。	D	
	青少年赤十字活動	赤十字についての学習講話等	B	
	※セーリング競技大会支援	江の島（湘南港）が会場となるセーリング競技大会（オリンピックテストイベント，セーリングワールドカップシリーズ等）などにおいて，子どもたちがボランティアとして活動できる機会を創出する。	A・C	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	※東京2020大会のオリンピック・セーリング競技支援	東京2020大会のオリンピック・セーリング競技において，子どもたちがボランティアとして活動できる機会を創出する。	A・C	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
社会教育	ボランティア育成事業	公民館・生涯学習大学において，オリンピックに関連する英会話やおもてなしに関する事業を行い，様々な場でボランティアとして活躍できる地域人材を，庁内各課や他機関と連携し，発掘・育成する。	A・B C・D	生涯学習総務課

社会教育	パラスポーツボランティア養成事業 スポーツサポーターバンク事業	障がいの有無を問わないパラスポーツの特性を良く理解した指導者やスポーツイベント等協力できるボランティアを養成し、スポーツを促進する環境を整備する。	A・B C・D	スポーツ推進課
------	------------------------------------	---	------------	---------

※今後具体的な実施内容を検討していく事業

③健康増進に関する取組

スポーツ等を通じた健康づくりや保健学習、薬物乱用防止教室等において、健康増進等にもたらす効果や薬物等が身体に及ぼす悪影響を学ぶことや、誘惑に負けない心を育む取組を推進します。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学校 教育	薬物乱用防止・喫煙防止・飲酒防止教育	外部講師による講演会を行う。	A・B D	
	健康な体づくり	モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）との連携。健康をテーマとして歩くことや移動手段を考える体験学習を行う。	A・D	都市計画課 教育指導課
	禁煙ポスター募集事業	市内小学生に禁煙ポスターの作成を依頼し、優秀な作品には賞を贈呈するとともに、最優秀のポスターは印刷し、市関係機関や薬局、各学校に配付する。	A・B D	藤沢市薬剤師会
	くすりの授業	薬剤師が各学校へ出向き、薬の正しい使い方、薬の副作用等薬に関する授業を実施する。アンチドーピングに対する啓発授業等も実施予定	A・B	藤沢市薬剤師会
	しょうゆ塾	東京2020大会公式スポンサーによる、しょうゆについて学びながら、「食べ物」の大切さなどから健康を学ぶ出前授業	A・D	キッコーマン株式会社
	食育セミナー	東京2020大会公式スポンサーによる、健康な食生活への関心を高めるオリンピック・パラリンピックを通じた食育に関する出前授業	A・D	株式会社明治

社 会 教 育	スポーツや健康に関する事業	公民館・生涯学習大学において，庁内各課と連携し，スポーツ・健康に関する事業を実施し，オリンピック・パラリンピックを契機とした健康啓発を行う。	A・D	生涯学習総務課
	ジュニアアスリートスポーツ栄養講座	児童生徒とその保護者や指導者に対し，栄養指導・栄養相談・食育などの事業を行い，スポーツを行う児童生徒の健康増進を図る。	A・D	スポーツ推進課

④文化芸術に関する取組

長い年月を経て育まれた日本の文化芸術や歴史の再認識と継承を図るとともに、海外から訪れる方々をおもてなしの心でお迎えするため、様々な国や地域の文化・風習の理解促進を図ります。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学校教育	文化祭	日頃の学習活動の成果を発表し、文化等に親しむ文化的行事を行う。	B・D	
	こども落語教室	落語を聞き、日本語の響きの素晴らしさや伝統芸能の楽しさを知る。	B	
	カルタ・百人一首大会	学年全体でカルタ・百人一首大会を行い、伝統文化に親しむ。	B・D	
	尺八・箏教室	講師を招いて、尺八や箏の演奏を鑑賞し、実際に和楽器演奏を体験する。	B	
	鎌倉彫体験	講師を招き、鎌倉彫の体験を通して、伝統的な工芸に親しむ。	B・D	
	茶道体験	講師を招き、茶道の作法を学び、体験を通して伝統文化に親しむ。	B・D	
	校内音楽発表会	仲間と協力して練習した合唱や合奏を発表し、音楽による交流を楽しむ。	B	
	修学旅行（日光、京都・奈良等）	集団宿泊行事を通して、日本の伝統文化等に親しむなどの、望ましい体験を積む。	B・C	
	校外学習（江の島、鎌倉等）	その地域の歴史や文化などに触れ、親しむ。	B・D	
	姉妹都市文化交流	本市と友好姉妹都市（海外4都市、国内1都市）提携をしている都市の文化芸術を学ぶ。	B・C	
	小学生のための郷土資料講座（考古）	土器についての説明や市内で出土した実際の土器に触る体験学習を実施する。	B・D	郷土歴史課
	小学生のための郷土資料講座（民俗）	市内で実際に使われていた昔の民具の説明、手で触る等の体験学習を実施する。	B・D	郷土歴史課

学校 教育	こころの劇場招待事業	企業・団体等の協賛によるミュージカル鑑賞招待事業	B	文化芸術課
	ものづくり体験教室	市内の職人が学校を訪問し、技能の実演、ものづくり体験を実施する。	B・D	産業労働課
	国際理解教室	外国人講師から他国の文化や風習、言葉などを学ぶ。	B・C	教育指導課
	学校給食	世界各国の郷土料理を給食で体験することで、食文化を学ぶ。	B・C	学校給食課
	鑑賞や歌唱・演奏指導	音楽家等が学校を訪問し、鑑賞や歌唱・演奏指導を通し、児童生徒の情操教育に寄与する。	B	公益財団法人藤沢市みらい創造財団
社会 教育	映像・音楽・文学作品などの鑑賞会、展示、講演会等	映像・音楽・文学作品などの鑑賞会、展示、講座、講演会等を実施し、市民へ生涯学習機会を提供する。	B・C D	総合市民図書館
	※文化系サークル等との連携事業	公民館において活動している文化系サークル等と連携し、日本の文化・歴史を発信するとともに、多世代間交流の場としても活用する。	B・C D	生涯学習総務課

※今後具体的な実施内容を検討していく事業

⑤環境に関する取組

オリンピック・パラリンピック競技大会の理念の一つである環境への配慮や環境保全による持続可能な循環型社会の学習をすることにより、環境保全活動の取組を推進します。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学 校 教 育	間伐材再利用	間伐材での小物作りを体験し、間伐材の有効活用について学ぶ。	A・C D	
	校内緑化活動	校内の花植えや手入れ、畑など校内緑化活動に継続的に取り組む。	A・C D	
	ビオトープ学習	バッタやヤゴなどの多くの昆虫を呼び、生態系をつくり観察する。	A・C D	
	節電・省エネ活動	教室などの電灯のこまめな消灯やエアコンの設定温度を配慮する。	A・C D	
	緑のカーテン	ベランダからネットをおろし、ゴーヤやヘチマ等を育てて緑のカーテンにする。	A・C D	
	ゴミの分別	各教室でゴミの分別回収を行い、ゴミ収集小屋に集積、美化委員がチェックを行う。	A・C D	
	エコキャップ・牛乳パック回収	エコキャップ・牛乳パックを回収し、資源の有効利用を図る。	A・C D	
	美化・リサイクル推進ポスターコンクール	市全体の環境美化とごみ減量の意識高揚を図るため、ポスターコンクールを実施する。	A・C D	環境総務課
	環境関連施設の見学	石名坂環境事業所、北部環境事業所及びリサイクルプラザ藤沢を見学し、環境に関する意識高揚を図る。	A・C D	北部環境事業所 石名坂環境事業所
	小学校におけるモビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）	移動手段や交通について「人や社会、環境にやさしい」という観点から、自発的に選択・行動できる児童を育てる教育活動を行う。	A・C D	都市計画課 教育指導課

学 校 教 育	「下水道の日」作品コンクール	下水道に対する理解と関心を深めるため、小学校4年生を対象に、ポスター、書道、作文のコンクールを実施する。	A・C D	下水道総務課
	みどりの授業	東京2020大会公式スポンサーによる、地球温暖化防止や生物多様性について学ぶ出前授業	A・C D	東京海上日動火災保険株式会社
	おどろき！なるほど！ガスワールド	東京2020大会公式スポンサーによる、都市ガスや燃料電池等についての出前授業。その他、教材の提供もあり。	A・C D	東京ガス株式会社
	そらエコ教室	東京2020大会公式スポンサーによる、航空機運航の中で実践している二酸化炭素排出量削減の取組などを紹介する環境教育に関する出前授業	A・C D	日本航空株式会社 (JAL)
	環境教育出前授業	東京2020大会公式スポンサーによる、国内の小中学校を対象とした環境教育に関する出前授業	A・C D	富士通株式会社
社会教育	環境啓発事業	公民館において、資源の大切さや、地域の自然環境を活用した事業を実施する。	A・D	生涯学習総務課

⑥共生社会に関する取組

オリンピズムの目的である人間の尊厳保持と平和な社会を目指し、あらゆる人の人権が尊重される社会の実現に向けて、障がいの有無、国籍、民族等の違いを超えた、共生社会の取組を推進します。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学校教育	手話学習	講師を招き、手話の基本や必要性などを学ぶ。	B・D	
	人権作文	人権について考え、作文にまとめる。	B・C D	
	平和学習	平和をテーマにした国語教材の学習、被爆体験講話会、平和スピーチ、広島修学旅行などを実施する。	B・C D	
	アイマスク・高齢者疑似・車いす・妊婦体験	障がい者や高齢者等の疑似体験を通して、共生社会について理解を図る。	B・D	
	いじめ防止プログラム	ワークショップを通して、いじめを未然に防ぎ、安心できる学級作りについて学ぶ。	B・D	
	いのちの授業講演会	外部講師による、命の大切さについて学ぶ講演会を行う。	B・D	
	人権教室出前授業	いじめ、差別、偏見などをテーマに、思いやりや他者を尊重することの大切さについて考える、人権擁護委員による出前授業	B・C D	人権男女共同平和課
	人権教育移動教室	国連NGO横浜国際人権センター講師による、人権尊重、生命の尊さ、国際理解などをテーマとした講演会	B・C D	教育指導課
	パラリンピック学習	国際パラリンピック委員会が開発した教材「I'm POSSIBLE」を活用したパラリンピック学習	A・B C	日本パラリンピック委員会／日本財団パラリンピックサポートセンター

学 校 教 育	ユニバーサルデザイン出前授業	東京2020大会公式スポンサーによる、ユニバーサルデザインを通じて多様性に関する理解を深めるための出前授業	B・D	株式会社 LIXIL
	※パラリンピック観戦	パラリンピックを観戦することにより、競技の楽しさや迫力を感じるとともに、卓越性や可能性を学び、多様な価値を学ぶ機会を創出する。	A・B C	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
	※パラスポーツの体験	外部指導者を招いて、パラスポーツの種目を体験する機会を創出し、共生社会への理解を深める。	A・B D	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
社 会 教 育	人権・共生社会・多文化事業	公民館・生涯学習大学において、文化・性の違いや障がいの有無等に関わらず、互いを理解し合い、交流できるような事業を実施する。	B・C D	生涯学習総務課
	拡大文字版セーリング競技パンフレットの作成	高齢者・視覚障がい者等に読みやすい拡大文字で製作したセーリング競技パンフレットを提供することで、競技について理解を深める一助とする。	B・D	総合市民図書館（点字図書館）

※今後具体的な実施内容を検討していく事業

⑦安全・安心に関する取組

防犯，交通安全，交通ルールなどの教育により安全対策の充実を図ります。また，災害への適切な対処ができるよう，防災教育を進めるとともに，地域諸団体と一体となった連携協力体制の充実を図ります。

	事業例	内容	視点との主な関連	問い合わせ先等
学校教育	交通安全教室	道路の歩き方，自転車の乗り方について知識を身につけ交通安全に関する意識を高める。	D	
	防犯講習	防犯について学び，防犯意識を高める。	D	
	救急法講習	救命救急の方法（AEDの扱い方など）を学ぶ。	D	
	防災訓練	地域や異校種等と連携して防災訓練を行う。	D	
	ジュニア防災リーダー学習	地域防災の担い手としての自覚を育み，初期人命救助の基本を理解するとともに，その手法を理解し身につける。	D	危機管理課 救急救命課
	交通安全ポスター	交通安全意識の高揚を図り，ポスターコンクールを実施する。	D	防犯交通安全課
	地域安全マップづくり	地域を歩きながら，安全な場所，危険な場所をみつけ，マップづくりを行う。	D	防犯交通安全課 教育指導課
	防火ポスターコンクール	防火意識の高揚を目的としてポスターコンクールを実施する。	D	予防課
	防災講演会	防災について理解を深め，主体的に避難行動が取れる子どもの育成を図る。	D	教育指導課
	あんしん教室	東京2020大会公式スポンサーによる，防犯をテーマにした小学生向けの出前授業	D	総合警備保障株式会社 (ALSOK)
ぼうさい授業	東京2020大会公式スポンサーによる，防災をテーマとした小学生向けの出前授業	D	東京海上日動火災保険株式会社	

社会教育	防災に関する事業	公民館において、地域団体と連携し、防災に関する意識を高め、地域におけるつながりを深める事業を実施する。	D	生涯学習総務課
------	----------	---	---	---------

取組施策事業例 問い合わせ先等一覧

2017年11月現在

	取組施策	事業例	内容	問い合わせ先	連絡先等	申し込み時期	備考
①	気運醸成・スポーツ推進に関する取組	オリンピック・パラリンピック競技体験	オリンピックやパラリンピアン等を講師に招き、実際にオリンピック・パラリンピックの競技を体験する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		セーリング体験	江の島(湘南港)がオリンピック・セーリング競技の会場となっていることから、実際に子どもたちにセーリングを体験できる機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室等			
		キャリア教育プログラム	イメージマップ等を使用したアクティブ・ラーニング教材の提供	パナソニック株式会社	「パナソニック教育支援プログラム」運営事務局に直接連絡 Tel. 06-6226-8288	随時	無料
		聖火リレーへの参画	オリンピック開催前に行われる聖火リレーに、子どもたちが参画できる場面を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		選手(オリンピック・パラリンピアン含む)との交流	セーリング競技大会開催時のレセプションや事前キャンプなどの機会を捉え、海外の選手やコーチなどの関係者などと交流の機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		藤沢市ゆかりの選手の応援	東京2020大会を目指す藤沢市ゆかりの選手を、様々な手法により応援する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		セーリング競技観戦	東京2020大会に向けて、テストイベントやセーリング ワールドカップシリーズが開催されるため、セーリング競技の観戦を通して、気運醸成を図る。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		オリンピック・パラリンピック観戦	オリンピック・パラリンピックを観戦することにより、フェアプレーやチームワークの精神を学ぶ。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
	セーリング学習	パンフレット等を活用して、セーリングのルールや種目などを学習し、また、競技会場である湘南港を見学する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室				
②	ボランティアマインドの醸成に関する取組	セーリング競技大会支援	江の島(湘南港)が会場となるセーリング競技大会(オリンピックテストイベント、セーリング ワールドカップシリーズ等)などにおいて、子どもたちがボランティアとして活動できる機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		東京2020大会のオリンピック・セーリング競技支援	東京2020大会のオリンピック・セーリング競技において、子どもたちがボランティアとして活動できる機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
③	健康増進に関する取組	くすりの授業	薬剤師が各学校へ出向き、薬の正しい使い方、薬の副作用等薬に関する授業を実施する。アンチドーピングに対する啓発授業等も実施予定	藤沢市薬剤師会	藤沢市薬剤師会に連絡 Tel. 0466-22-8664	随時	無料
		しょうゆ塾	東京2020大会公式スポンサーによる、しょうゆについて学びながら、「食べ物」の大切さなどから健康を学ぶ出前授業	キッコーマン株式会社	ホームページから直接申し込み https://www.kikkoman.com/jp/shokuiku/activity/school/	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分) 無料
		食育セミナー	東京2020大会公式スポンサーによる、健康な食生活への関心を高めるオリンピック・パラリンピックを通じた食育に関する出前授業	株式会社明治	コミュニケーション課に直接連絡 Tel. 03-5677-6027(平成30年1月22日から)	開催1カ月以上前	1クラス以上の申し込み(1コマ45分) 無料(一部材料費の負担あり)
④	文化芸術に関する取組	鑑賞や歌唱・演奏指導	音楽家や音楽家等が学校を訪問し、鑑賞や歌唱・演奏指導を通し、児童・生徒の情操教育に寄与する。	公益財団法人藤沢市みらい創造財団	芸術文化事業課に直接連絡 Tel. 0466-28-1135	毎年4月から5月中旬まで(その他の時期については要相談)	無料
		文化系サークル等との連携事業	公民館において活動している文化系サークル等と連携し、日本の文化・歴史を発信するとともに、多世代間交流の場としても活用する。	生涯学習総務課			
⑤	環境に関する取組	みどりの授業	東京2020大会公式スポンサーによる、地球温暖化防止や生物多様性について学ぶ出前授業	東京海上日動火災保険株式会社	神奈川支店湘南平塚支社に直接連絡 Tel. 0466-38-0123	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分から) 無料
		おどろき!なるほど!ガスワールド	東京2020大会公式スポンサーによる、都市ガスや燃料電池等についての出前授業。その他、教材の提供もあり。	東京ガス株式会社	ホームページから直接申し込み http://www.tokyo-gas.co.jp/kids/	開催2カ月以上前(「育むエコ食」は年度当初の申し込み)	人数については要相談(1コマ45分から) 無料(「育むエコ食」については、食材を学校で用意)
		そらエコ教室	東京2020大会公式スポンサーによる、航空機運航の中で実践している二酸化炭素排出量削減の取組などを紹介する環境教育に関する出前授業	日本航空株式会社(JAL)	ホームページから直接申し込み https://www.jal.com/ja/csr/soraiku/	開催月の3カ月前の月末	30人以上で申し込み(1コマ45分から) 無料(交通費実費負担あり)
		環境教育出前授業	東京2020大会公式スポンサーによる、国内の小中学校を対象とした環境教育に関する出前授業	富士通株式会社	ホームページから直接申し込み http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/activities/education/index.html	4月に左記ホームページに申し込み期間が掲載される。年度当初に申し込みの必要あり	10人~40人まで(クラス単位での申し込み、1コマ2時限) 無料
⑥	共生社会に関する取組	パラリンピック学習	国際パラリンピック委員会が開発した教材「I'm POSSIBLE」を活用したパラリンピック学習	日本パラリンピック委員会/日本財団パラリンピックサポートセンター	I'm POSSIBLE日本版事務局 iampossible@parasapo.tokyo		組織委員会ホームページから教材のダウンロードが可能 https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/education/teaching-material/iampossible/
		ユニバーサルデザイン出前授業	東京2020大会公式スポンサーによる、ユニバーサルデザインを通じて多様性に関する理解を深めるための出前授業	株式会社LIXIL	ホームページから直接申し込み http://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/future/education/ed_universal.html	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ2時限) 無料
		パラリンピック観戦	パラリンピックを観戦することにより、競技の楽しさや迫力を感じるとともに、卓越性や可能性を学び、多様な価値を学ぶ機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		パラスポーツの体験	外部指導者を招いて、パラスポーツの種目を体験する機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
⑦	安全・安心に関する取組	あんしん教室	東京2020大会公式スポンサーによる、防犯をテーマにした小学生向けの出前授業	総合警備保障株式会社(ALSOK)	藤沢営業所に直接連絡 Tel. 0466-31-0263	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分) 無料
		ぼうさい授業	東京2020大会公式スポンサーによる、防災をテーマにした小学生向けの出前授業	東京海上日動火災保険株式会社	神奈川支店湘南平塚支社に直接連絡 Tel. 0466-38-0123	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分) 無料

平成29年12月市議会定例会一般質問 答弁者一覧表

通告番号	質問議員	件名	要旨
1	東木 久代	1 笑顔溢れる学校づくりについて	(1) 教員の質の向上と負担軽減について
		2 待機児童対策について	(1) 企業主導型保育の活用について
		3 安心の長寿社会の構築について	(1) 「我が事丸ごと地域共生社会」と「藤沢型地域包括ケア」の諸課題について
2	山内 幹郎	1 子どもの食の現状と施策について	(1) 子どもの食をめぐる現状と施策全般の評価について
			(2) 小学校給食の現状と課題について
			(3) 中学校給食について
			(4) その他、子ども食堂などにおける食の支援について
			(5) 地産地消のとりくみについて
2 まちづくりについて	(1) 辻堂市民センター・公民館建設について		
3	竹村 雅夫	1 「社会モデル」の視点から考える、インクルーシブなまちづくりについて	(1) エビデンス（科学的根拠）にもとづく安全・安心なまちづくりについて
			(2) 「ダメ！絶対」だけではない薬物依存症対策について
4	阿部 すみえ	1 安全・安心なまちふじさわについて	(1) 災害時に向けた自助・共助・公助のあり方について
		2 誰もが輝けるまちふじさわについて	(1) がん患者の支援について
5	北橋 節男	1 市長の政治姿勢について	(1) 本市における文化芸術の振興について
			(2) 三者連携(学校・家庭・地域)について
6	永井 譲	1 市と市民との協働について	(1) 市民電子会議室の終了に際して
		2 本市の持続型社会の構築について	(1) 環境政策とSDGsについて
			(2) 東京2020オリンピック競技大会セーリング競技開催市として
			(3) 取り組みの可能性
(4) 今後について			
7	吉田 淳基	1 市長の政治姿勢について	(2) 下水道行政について
			(1) 行財政改革の推進について
8	脇 礼子	1 とともに生きる社会の実現に向けて	(1) 障がい当事者、その家族の視点にたった施策のさらなる推進について

平成29年12月市議会定例会一般質問 答弁者一覧表

通告番号	質問議員	件名	要旨
9	味村 耕太郎	1 スポーツ行政について	(1) スポーツ施策の充実について
		2 福祉行政について	(1) 地域の課題について
10	清水 竜太郎	1 スポーツ行政について	(1) スポーツを通じた健康づくり・まちづくりについて
11	有賀 正義	1 環境行政について	(1) 海岸ゴミ箱の突然の撤去について
12	土屋 俊則	1 まちづくりについて	(1) 藤沢駅及びその周辺について
13	井上 裕介	1 学校施設管理について	(1) 現状と課題と今後について
		2 文化施設について	(1) 現状と課題と今後について
14	平川 和美	1 市民サービスの充実について	(1) 子育て世代の情報発信について
			(2) 窓口対応について
		2 安心安全なまちづくりについて	(1) 災害時の障がい者支援について
		3 命を守る取り組みについて	(1) がん教育について
15	桜井 直人	1 市民病院について	(1) 経営健全化の取組について
			(2) 再整備の進展状況について
		2 市民がスポーツしやすい環境整備について	(1) 現状の課題と今後について
16	武藤 正人	1 安全・安心な藤沢のまちづくりについて	(1) 防犯対策について
			(2) 江の島地区の災害対応について
			(3) 防災訓練について
			(4) タイムライン(事前行動計画)の取り組みについて
17	原田 伴子	1 成熟社会にふさわしい新たな社会モデルについて	(1) 一人一人がソーシャルを生み出すまちづくりについて
18	酒井 信孝	1 選挙事務について	(1) 開票事務について
		2 辻堂市民センター再整備について	(1) 福祉避難所や津波避難ビルとしての位置づけについて
		3 身だしなみについての規定や指導について	(1) 市職員の身だしなみの規定について
			(2) 中学校の身だしなみの指導について

平成29年12月市議会定例会一般質問 答弁者一覧表

通告 番号	質問議員	件 名	要 旨
19	西 智	1 保育行政について	(1) 保育所入所に関する情報公開について
		2 マイナンバー制度の活用について	(1) マイナポータルによる子育てワンストップサービス（ぴたっとサービス）等の活用について
20	柳沢 潤次	1 まちづくりについて	(1) 大型開発と産業政策について
		2 観光行政について	(1) 片瀬海岸海水浴場のあり方について
21	佐賀 和樹	1 海岸行政について	(1) 年間を通じた海岸利用者の安心安全について
		2 投票率の向上について	(1) 期日前投票について
		3 公共施設について	(1) 公共施設建設のあり方について
22	堺 英明	1 東京オリンピック・パラリンピックについて	(1) 大会への支援について
			(2) セーリング競技について